

行政課題内容

課題タイトル	7 書架到着時間の短縮【書架誘導ロボ】
背景と課題	<p>利用者が目的の資料（本や雑誌など）を探す際に、図書館内にある蔵書検索機を使って、出力されたレシートを利用することがある。</p> <p>印字された棚区分等の情報と、実際のフロア図を突き合わせても、なかなか該当の書架や棚にたどり着けず、職員に尋ねるケースも多い。</p> <p>例 入館者 1,000 人／日 あたり レシート出力者 200 人（20%） うち 職員補助 30 人（3%）</p>
イメージする解決方策	<p>利用者が資料のある書架にたどり着けるように、サポート AI 機能を有するもの（以下例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レシート情報を読み込むカメラ機能（OCR 機能） ・誘導する手段（移動式ロボット、VR 型ゴーグル 等）
付加的な提案要素	<ul style="list-style-type: none"> ・レシートでは在庫だが、実際には現物がない場合の対応 例 利用者「見つからない」ボタン → AI「カウンタにご案内します」 ・案内のほかに、開始から到着までの時間を計測する ・利用者満足度調査（満足ボタン、残念ボタン 等）
期待する実証希望者像	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館が不特定多数の利用者（年齢・情報認識度・多国籍 等）を対象にしていることを理解される方 … やさしい日本語対応 ・安全に配慮した設計ができる方
提供可能なデータ・場所等	<ul style="list-style-type: none"> ・実証を行う図書館フロア（全 21 館の中から適した館を選択） ・書架配架図 ・レシートに出力される資料データ（所蔵館、場所区分、棚区分、請求記号など）
担当部署	教育委員会鶴舞中央図書館整理課